

## 第 15 回教育研究審議会

### 議事概要

開催日:平成 30 年 11 月 7 日 (水)

場 所:本部棟 3 階大会議室

出席者: 福田誠治学長、阿毛久芳副学長、新保祐司副学長、谷内治彦事務局長、小林重雄理事、西尾理学学長補佐、平野耕一学長補佐、樋口雄人学長補佐、加藤めぐみ学長補佐、加藤敦子国文学科長、中地幸英文学科長、山本芳美比較文化学科長、寺川宏之学校教育学科長、高田研地域社会学科長、竹島達也大学院研究科委員長、廣田健教職支援センター長、竹下勝雄地域交流研究センター長、大辻千恵子国際交流センター長、豊嶋朗子語学教育センター長、市原学入学センター長、矢嶋亘総務課長、小宮文彦経営企画課長、澄川宏学生課長

欠席者: 野中潤図書館長(兼)情報センター長

### ■挨拶

福田誠治学長よりあいさつ

### 議 事

#### (1) 教員配置計画について

○担当から資料 1 に基づき説明。一部修正し承認。

◇国際教育 (国際バカロレア教育)

- ・応募締切日を平成 30 年 12 月 18 日 (火) に修正。
- ・提出書類 (3) の「主要業績 3 編」を「主要業績・実績 3 編」とする。

◇哲学

- ・提出書類 (4) の「A41 枚 2000 字程度、英文も可」を「A41 枚、英文も可」とする。

#### (2) 非常勤講師担当科目コマの発議提案について (地域社会学科)

◇国際法

○担当から資料 2 に基づき説明。提案通り承認。

- ・担当教員が来年度担当できないための提案。
- ・発議の事由は新規採用ではなく退職とする。また、単位は 2 単位に修正。

#### (3) 非常勤講師担当科目コマの発議提案について (国文学科)

◇国文学第一演習 VI (近代)、国文学第二演習 VI (近代)

○担当から資料 3 に基づき説明。提案通り承認。

- ・担当教員が来年度学外研究のための提案。

#### (4) 公立大学法人都留文科大学ペーパーレス会議システム運用管理規則 (案) について

○担当から資料 4 に基づき説明。提案通り承認とするが、情報センターに確認を取り、必要があれば修正する。

- ・ 前回の審議を踏まえ、再度見直しを行った。
    - 資料の一部又は全部についてペーパーレス化を図るものとし、紙との併用も可とする。
    - 事後回収その他取扱いに注意が必要なものを除き、ダウンロード及び印刷できる。
    - 事後回収が必要なものは、会議終了後に会議システムから削除する。
    - 教育研究審議会は、貸与したタブレット端末では閲覧できない設定とした。
  - ・ 第3条3項に有線ネットワークとあるが、情報センターの説明では無線でも利用できると聞いている。
    - 再度確認する。無線でも利用できる場合は「有線」を削除する。
- (5) 文部科学省から改善の指摘を受ける可能性のある教職関連カリキュラム等の改善について(メモ)の対策案について(継続審議)
- 担当から資料5に基づき説明。継続審議。
- ・ 授業の15回実施については、教務委員会の対策案の通り、15週目の「授業調整期間」を「授業期間」とし、16週目を「定期試験期間」とする。また、学年歴にも記載する。
  - ・ 15週目に授業と試験を行った場合、追試験はどうするか。
    - 16週目の場合は追試験で対応となるが、15週目の試験の場合は学生と教員との問題になってくるので、事務的には扱わない。
  - ・ 補講の期間や試験教室の確保については引き続き教務委員会で検討していく。
- (6) H30年度 開講科目について(交換留学生プログラム専用科目)
- 提案通り承認。
- (7) H31年度 開講科目について(学・初・国・英・社・地教職関係)
- 提案通り承認。
- (8) 私費留学生入試の募集人員について
- 担当から資料8に基づき説明。提案通り承認。
- ・ 私費留学生入試の募集人員は今年度も全学科合わせて若干名として募集をするが、昨年度の比較文化学科の入試で私費留学生を除くと定員割れとなったこともあり、今年度は若干名を大きく超える合格者を出さない。
    - 合格者8名で手続者5名くらいが妥当。
  - ・ 募集人員を増やすのであれば、来年度以降の入試に向けて議論する。
- (9) 比較文化学科の推薦入試について(継続審議)
- 担当から資料9に基づき説明。教育研究審議会での結論は下記のとおり。
- ・ 比較文化学科の推薦入試については、アドミッションポリシーを生かした出題とすることを求める。つまり、英語などの外国語を推薦入試に出題する。
    - アドミッションポリシーと齟齬があると大学としては認められない。
  - ・ 2021年度入試の選考方法は今年度の3月までに公開予定で、運用方法は来年度公開する。
    - 1月を目途に各学科で原案を作ってもらい、その後入学センターを経て教育研究審議会で審議する。

(10) 英文学科の入試変更について

○担当から資料 10 に基づき説明。提案通り承認。

・英文学科からの再提案の通り推薦入試の評定平均値は 3.8 を維持する。

### 3 報 告

(1) 平成 31 年度予算編成方針について

○法人連絡会議の議題とする。

### 4 その他

○特になし。

### 5 閉 会

以上